

あいち健康福祉ビジョン 年次レポート（案） （平成27年度版）



目 次

年次レポートの趣旨・構成について・・・p1～2

1 特 集・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～28

- (1) 地域包括ケアの推進
- (2) 在宅医療の推進
- (3) 認知症施策の推進

2 主要な目標の進捗状況・・・・・・・・ p 29～ 43

- (1) 福祉
 - ① 高齢者がいきいきと暮らせる社会へ
 - ② 子どもと子育てにあたたかい社会へ
 - ③ 障害のある人が安心して暮らせる地域社会へ
- (2) 保健・医療
 - ① 誰もが健康で長生きできる社会へ
 - ② 必要な医療が受けられる社会へ
- (3) 地域
 - 健康福祉の地域力が充実した社会へ

(参考) 昨年度の年次レポートにおける「新たな課題への対応」の
その後の状況

3 新たな課題への対応・・・・・・・・ p 44～58

- (1) 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施
- (2) 福祉人材の確保の推進
- (3) 地域医療構想の策定

年次レポートの趣旨・構成について

「あいち健康福祉ビジョン」（以下「ビジョン」という。）では、目指すべき健康福祉社会像としての「基本理念」、健康福祉分野に共通する「基本とする視点」を掲げた上で、6つの「分野」について本県の健康福祉行政の進むべき方向性と主要な取組を示しています（下表参照）。

ビジョンの推進にあたっては、健康福祉を取り巻く状況の変化や課題を的確に把握した上で、取組の実施状況の評価を行っていくことが必要であり、そのため、毎年度、「年次レポート」を作成・公表することとしています。その構成は、次頁のとおりです。

基本理念	ともに支え合う安心・健やかで幸せなあいち ～『あいち健幸（けんこう）社会』の実現
基本とする視点	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭の機能を支える ② 地域全体で支え合う ③ 一人ひとりの生き方と可能性を尊重する ④ 予防・早期対応を重視する ⑤ 持続可能なシステムを構築する ⑥ 役割分担を明確化する
分野	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者～高齢者がいきいきと暮らせる社会～ ② 子ども～子どもと子育てにわたたかい社会～ ③ 障害のある人 ～障害のある人が安心して暮らせる地域社会～ ④ 健康 ～誰もが健康で長生きできる社会～ ⑤ 医療 ～必要な医療が受けられる社会～ ⑥ 地域 ～健康福祉の地域力が充実した社会～



1 特 集

- 毎年度テーマを設け取組状況を検証します。テーマの設定にあたっては、社会的に関心の高い事項や、新たな動向が見られた施策等について取り上げていきます。
- 今回は、高齢者の急増で、システムの構築の必要性が高まっている「地域包括ケアの推進」、「在宅医療の推進」、「認知症施策の推進」をテーマとし、平成 26 年度を取組を検証します。

2 主要な目標の進捗状況

- ビジョンに掲げた「主要な目標（38 項目）」の進捗状況を把握・評価します。平成 26 年度の実績は概ね順調に推移しました。
- 昨年度の年次レポートにおける「新たな課題への対応」のその後の状況を把握し、必要に応じて新たな目標を設定します。

3 新たな課題への対応

- 制度改正や社会状況の変化に伴う新たな課題が生じた場合には、年次レポートの中で、取組の方向性を明らかにしていきます。
- 今回は、子ども・子育て支援新制度がスタートしたことや、急速な高齢化・生産年齢人口の減少に伴う福祉・介護人材の不足、医療法の改正を踏まえ、「子ども・子育て支援新制度の円滑な実施」、「福祉人材の確保の推進」、「地域医療構想の策定」の 3 つのテーマについての考え方を示していきます。

